

【第三種郵便物認可】

東北 技術あり企業

タカハタ電子

液晶テレビなど大手家電メーカーからの受託生産で成長してきた電子機器メーカー、タカハタ電子（山形県米沢市）。家電王国ニッポンの凋落に挑み始めた。



有機ELを使ったデザイン照明

《会社の横顔》	
所在地	山形県米沢市に本社・工場。東京、仙台、名古屋、大阪、福岡に営業所
発祥	前身は1966年設立の高昌電子製作所。1974年設立
規模	売上高180億円（2015年7月期） 従業員209人（2015年10月1日）
ここに注目	有機ELを使った照明器具など次世代技術で市場開拓

山形大発の技術を核に

有機EL照明に活路

「規模は追わず、事業構造や体質を強化する。有機EL照明で風穴を開け市場をつくっていく。」タカハタ電子の安房毅社長はこう決意を語る。米沢市にキャンパスを構える山形大学工学部から生まれた有機ELの技術を生かして新たな製品づくりに挑み始めた。

太陽光に近い光
有機ELは城戸淳二、山形大学教授が世界をリードする技術で、ディスプレイや照明に使える。博覧会や高級ホテルなどで、面全体で発光。壁や天井全体を光らせることができるようになる。博物館や高級ホテルなどで、面全体で発光。壁や天井全体を光らせることができるようになる。博物館や高級ホテルなどで、面全体で発光。壁や天井全体を光らせることができるようになる。

タカハタ電子が狙っている。高級旅館などの利用は独自の「自社」を始めた。自社技術のみに頼るのではなく、大手から始める。高昌電子の技術が核となり、夜間巡回などで使われる。有機ELパネルを調達の。師らが夜間巡回などで使われる。有機ELパネルを調達の。師らが夜間巡回などで使われる。有機ELパネルを調達の。師らが夜間巡回などで使われる。

ど医療現場の開拓も進んでいる。現状では有機ELはLEDに比べて割高なのがネックだが、このところパネルの生産コストが大幅に低下している。行灯はこれまで5万5000円だったのが、2万円を切る価格で販売できるようになった。これとは別に、城戸教授らが設立した山形大発ベンチャー「ナチュール」が、有機ELを使った照明器具を開発している。ナチュールは、有機ELを使った照明器具を開発している。ナチュールは、有機ELを使った照明器具を開発している。

東北

支局

盛岡

秋田

青森

岩手

宮城

福島

山形

福島

山形